

令和5年12月議会 議案説明補足資料

目次

- | | | |
|------------------------------|---|----|
| 1. 福岡市防災無線の更新整備に係る予算の繰越について | … | 1頁 |
| 2. 中央市民センター大規模改修について(改修基本計画) | … | 2頁 |

市民局

1. 福岡市防災無線の更新整備に係る予算の繰越について

1 事業概要

現行の防災無線は、運用開始から十数年が経過しており、経年劣化による故障やメーカーの部品供給の一部停止により、将来的には運用できなくなることから、大規模災害時における通信手段の確保を目的として更新整備を行う必要がある。

このため、整備に当たっては、耐災害性や他都市での導入実績などを踏まえ、「MCAアドバンス無線」と「自営無線」に絞って検討し、整備コスト面で優位な「MCAアドバンス無線」を導入する方針とした。

令和4年度に基本設計を実施し、令和5年度には実施設計を実施することとしていたが、同年、「MCAアドバンス無線」を運営する一般財団法人移動無線センターから、今後10年間に渡りサービスを継続していくことは確約できないとの申出があり、事業の継続性が担保できないこととなったため、「MCAアドバンス無線」に代わり、次善案であった「自営無線」を導入することとした。

「自営無線」の導入に向けては、早急に基本設計に着手する必要があるが、年度内完了が難しいため、令和5年度の委託費を令和6年度に繰り越すもの。

2 繰越の内容

(繰越額) 27,500 千円

【事業内容】

- ・ 基地局設置場所の検討
- ・ 電波伝搬調査
- ・ アンテナ設置の検討（設置位置、配線ルート等） 等

3 今後のスケジュール（予定）

令和6年1月～令和6年8月	基本設計
令和6年10月～令和7年3月	実施設計
令和7年度	工事着工

2. 中央市民センター大規模改修について（改修基本計画）

1 改修基本方針

基本的な考え方（改修目的）

- 市のアセットマネジメント基本方針に基づき、**70年使用することを前提**に、施設の状態に応じた改修を行い、老朽化した**建築物・設備の長寿命化**を図る。
- 市民センターが抱える**利便性上の課題が解消**され、**社会的ニーズに対応**した、市民が安全・安心・快適に利用できる施設として整備する。
- 明るく、開放的な施設となるよう**外観、内装の刷新**を図る。

改修にあたり主に取り組む内容

① 施設の機能充実

- 市民ロビーなど気軽に立ち寄りやすく、柔軟性を備えたスペースの設置
- さまざまな楽器の使用に対応したホールや音楽室の整備
- 閲覧席や館内通路にゆとりを持たせた図書館の整備
- 駐車場や駐輪場の拡張 など

② ユニバーサル都市・福岡の推進

- 段差をなくすなどバリアフリーに対応した施設への改修
- 洋式化やオストメイト対応、個室の増設など使いやすいトイレへの改修
- 目的の場所がわかりやすく、認知症の人にもやさしいサイン計画 など

③ 防災機能の強化

- 避難所としての機能充実
- 電気設備の浸水対策 など

④ 脱炭素社会実現

- 省エネルギー性能の向上や内装の木質化
- ZEB化改修や太陽光発電設備導入の検討 など

2 改修方法

概要

① 既存の建物を構造躯体だけ残した**スケルトン改修**

- 躯体だけを残し、外壁や屋上防水改修により長寿命化を図ったうえで、内外装を刷新する。

② 建物南側に市民ロビーや電気・機械室などを**増築**

- 建物南側を増築し、1階に市民ロビーなどを新たに設ける。
- 増築部分の2・3階に電気・機械室を設け、浸水対策として地下にある電気設備等に移設する。

③ 建物西側にホール搬入用エレベーターを**増築**

- 建物西側を増築し、ホールへの機材搬入用エレベーターを設ける。

④ 既存設備の見直しによる**敷地の有効活用**

- 既存の給水設備や空調方式の見直しにより生じたスペースを活用し、駐車場等の再配置により、駐車台数や駐輪台数のさらなる拡張を図る。

改修のイメージ図



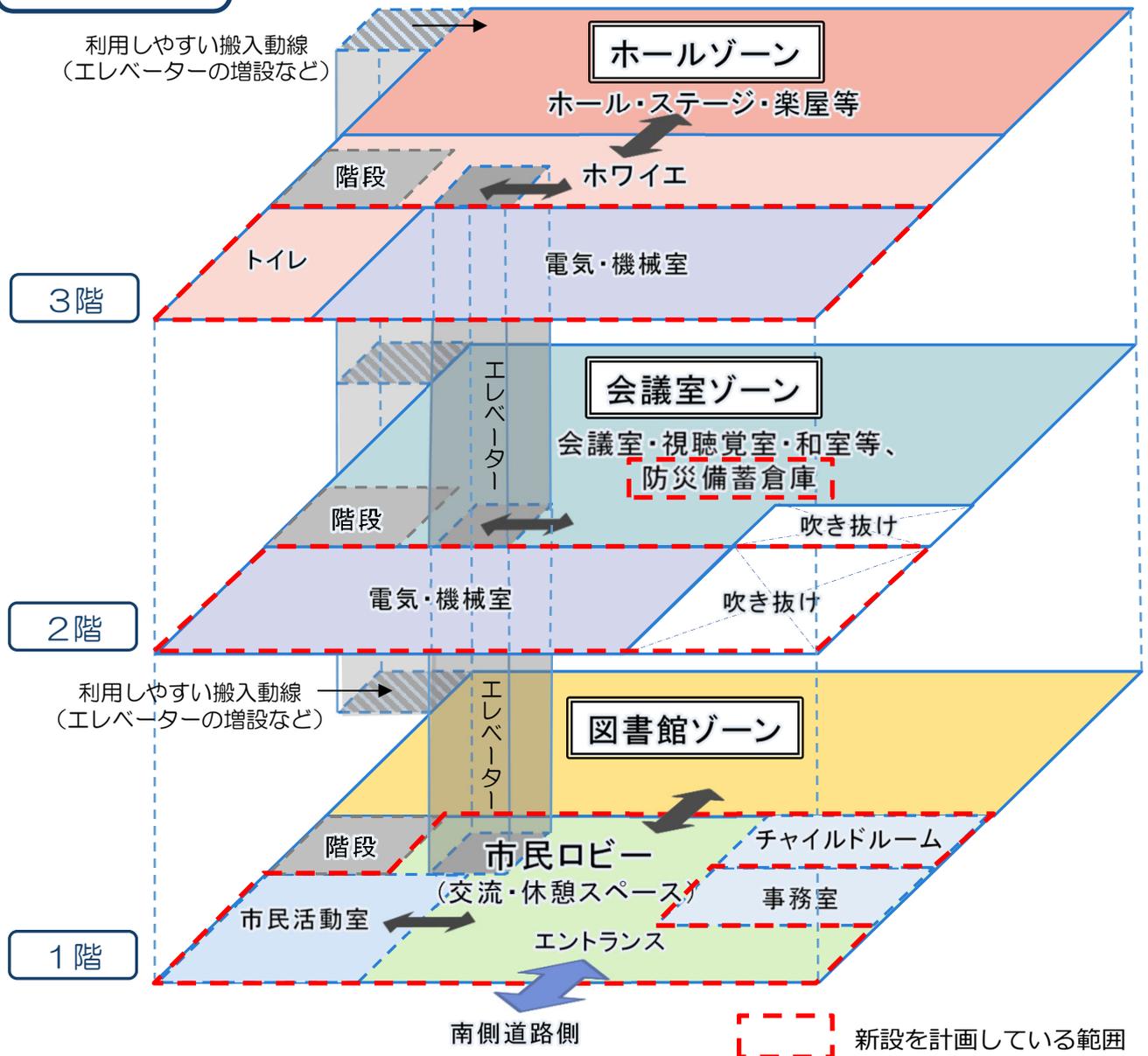
3 ゾーニング※計画

※ゾーニング：建物用途や機能によって区分し、その位置関係を定めること

基本的な考え方

- 施設のメインエントランスから入った**1階に市民ロビー**を配置し、利用者がホール、会議室、図書館の各ゾーンにアプローチしやすい動線計画とする。**(新規)**
- ホール、会議室、図書館の各ゾーンは、利用者のわかりやすさに配慮し、**現在と同様、階を分けて配置**する。
- 利用者間の交流や文化活動が促進されるように、**吹き抜けや階段・エレベーター**等で**各ゾーンをつなぎ**、視覚的・動線的に連続した空間構成とする。
- 「市民センターホール」への**機材の搬入を考慮した配置・動線計画**とする。**(新規)**

計画図



4 機能ごとの改修の考え方（建築計画）

機能一覧

機能	面積 (㎡)		考え方	
	現況	改修後 (目標値)		
市民センター	市民ロビー	0	約180	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設利用者の交流の場として新設 ○ 休憩スペースを設置
	市民活動室	0	約60	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習スペースや研修室などの市民が活動、利用できるスペースを市民ロビーに隣接した位置に設置
	チャイルドルーム	0	約20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳幼児連れ親子の遊び場・交流の場の設置 ○ 授乳室や託児室との連携を考慮して配置
	防災備蓄倉庫	0	約20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難生活に必要な備品や飲料水などを備蓄するために設置 ○ 避難室となる和室等との連携を考慮して配置
	会議室等	525	約600	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大・中・小の会議室、和室、視聴覚室などを設置 ○ 炊出しができる調理機能を有する実習室を設置 ○ ダンスや楽器の練習に対応した音楽室を設置 ○ 多様な利用形態に対応できる可動間仕切を採用
	ホール等	897	約1,060	<ul style="list-style-type: none"> ○ 500席の客席を維持したうえで一新 ○ 防音性能を向上（階下への音漏れ低減） ○ バックヤードを拡充（楽屋の増設、バリアフリートイレの設置など） ○ 舞台設備を更新 ○ 機材搬入用エレベーターを設置 ○ 屋外廊下・階段を屋内化
	事務室等 管理部分	1,460	約1,900	<ul style="list-style-type: none"> ○ トイレの洋式化や個室の増設 ○ オストメイト対応のバリアフリートイレを設置 ○ 授乳室、託児室を設置 ○ 市民センターの事務室を1階に設置
図書館	図書館分館	478	約560	<ul style="list-style-type: none"> ○ おはなしの部屋を設置 ○ 書架等の配置を見直し、閲覧スペースの拡充やゆとりある通路幅の確保
共用部	電気・機械室	528	約200	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンパクトで省エネな最新機器の導入による効率的な配置 ○ 地下1階電気・機械室は他用途に転用
合計		3,888	約4,600	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建物の断熱性能の向上を図る ○ 内装の木質化を図る

新設機能

5 設備計画・外構計画

設備計画

- 各種設備（受変電、照明、非常用発電、空調、衛生、消防、昇降機、舞台など）を更新する。
- 脱炭素社会の実現に向け、高効率な空調設備やLED照明など省エネルギー機器の導入を図り、ZEB化改修や太陽光発電設備の導入を検討する。
- 防災機能の強化に向け、非常用発電設備の能力向上を図る。
- より衛生的で、点検が容易なパネル式受水槽への変更や、効率的な空調方式への見直しにより、受水槽室棟、ボイラー設備及び地下油槽を廃止・解体する。

外構計画

- 体育館との共用駐車場について、現行の129台から、さらなる拡張を図る。
- 駐輪場について、現行の77台程度から、さらなる拡張を図る。
- マンホールトイレを整備し、避難所機能の強化を図る。

6 想定事業費

約35億9,479万円

【内訳】

- ・ 基本・実施設計費 1億 79万円
- ・ 改修（増築）工事費 約34億9,400万円

7 想定スケジュール

